

## 「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

平成 31 年 3 月 22 日

団体名 しろね大風タウンガイド

代表者氏名 高橋直廣

### 1. 提案事業名

白根商店街空き家解消・誇れる地元発信事業

### 2. 事業内容及び実施写真

#### (1) 空き家対策講演会の実施

■日程：12月13日（木）19:00~21:00

■会場：旧泉三（白根商店街内）

■概要：①「ここがスゴイ！白根の歴史的な町屋について」しろね町屋あるき研究会 加藤健二氏  
②「歴史的な町並みを生かしたまちづくりについて」新潟大学工学部 岡崎篤行教授  
③質疑応答など ※添付資料①チラシを参照

■参加者数：50名

■内容：加藤氏からは新潟大学で過去研究された白根の町屋の特徴をお話いただき、白根の町屋の魅力について地元の方へ伝えることができた。県内でも有数の、連続的な町屋の保存率について、東京大学の教授も驚いたエピソードなどを聞き、参加者からは感心の声が上がっていた。岡崎教授からは、現在の歴史的な町並みを生かしたまちづくりの現状や、金沢市や京都市の事例紹介、今後の新潟市の街並みを生かしたまちづくりの在り方について講演いただいた。参加者からは特に、歴史的なまちづくりについて、重要文化財のある地域において利用できる国の補助金についての活用に関して、非常に高い関心が寄せられていた。



(2) 白根をしろーね新聞の発行（※添付資料②資料参照）

白根の町屋に関する情報をまとめた新聞を制作し、南区内で新聞折り込みにより PR。

■制作：凧っこ 13 人衆などのキャラクターデザインを行っている本間日菜氏に依頼。 地元の人材を活用し、制作を行うことができた。

■発信方法：3月16日発行の新聞折り込みを実施、Facebook での発信も実施した。

■発信先：白根地区内（約 4,000 軒）、協力店舗、関係施設等に配布、配置。

(3) 商店街での写真展

商店街内との連携を行うためのコミュニケーションのきっかけとするため、写真展と題し商店街内の商店や空き店舗に写真の掲示を行った。

■実施：3月11日～4月末まで

■参加店舗：4店舗（3月20日現在）

※実施にあたり、商店街の方から聞き取りなどを実施することができた。



(4) 今昔写真イベントの実施

■日程：3月17日（日）13:00～16:00

■会場：旧泉三（白根商店街内）

■主催：今昔写真プロジェクト、しろね大凧タウンガイド

（※今昔写真プロジェクトとの共同開催）

■概要：新潟今昔写真の会は、ご家庭に眠る「昔の写真」を収集し、そこに写る街並みの「現在の姿」を撮り歩くイベントを実施。当日は、しろね大凧タウンガイドも参加し、「昔の写真」にまつわる話を伺いながら白根商店街の町家を撮り歩くことで、参加頂いた方々に古き良き町家に触れてもらい、街の魅力をより感じてもらうきっかけとする。

■参加者：一般参加者 11 名、タウンガイド 9 名



### 3. 事業実施の評価と課題

- (1) の講演の実施により、白根の町屋の啓発や、町屋という資源を活用したまちづくりについて新潟大学の先生より講演いただくことで、下記の効果があった。
- ① 白根の町屋の魅力や他地域にはない重要性についての啓発が行えた
  - ② 歴史的な街並みの保存をテーマとして、今後のまちづくりにおいて住民の学ぶ機会につながった。
  - ③ 住民と団体とのコミュニケーションがとれ、今後の活動につながった。
- ▶ 特に、過去の古い写真などを媒介にすると、会話や話を初めてする方ともうまくコミュニケーションをとることができた。
- (例：古い写真をどうしたらいいのか。何か空き家をカフェなどにしたい…等)
- (2) しろねをしろーね新聞では、(1) の講演内容をはじめとして、白根の魅力を伝える内容をイラストつきで作成した。新聞折り込みによって、白根地区内の地元の人をターゲットとして情報発信をすることができた。SNS などでの発信も行い、地域内外から関心を高めることができた。
- (3) (1) の空き家講演会において、昔の商店街の「写真」を媒介にすることで、地元の方からお話を伺うきっかけとなった。このことから、商店街の店舗において写真展と題し、空き家・空き店舗も含めて写真展示を行うことで、商店街の方とのコミュニケーションにつなげた。
- (4) 今昔写真@白根商店街を実施したことによって、ソトの人に対して、地元の昔の歴史を語る場をつくり出すことができた。これまで「地元には何もない」という視点から、「自分が知っているまちの歴史は面白い」という経験を通し、地元の方の視点を変えることができた。また、同時にイベント目的で白根へ来た方（地域外の方）への発信も行い、参加者からは「あまり来たことはなかったが、色々な歴史が知れて面白かった。また白根に来たい」との感想をもらうこともできた。

### 4. その他提案

#### ■「歴史的町並みを生かしたまちづくり法」の活用を

現在、新潟市古町で歴史を生かしたまちづくり法を活用して、町並みを保存し改修していく計画がある。国の重要文化財のある地域しか使うことができないが、白根地域は笹川邸があるため活用が可能である。今後、活用に向けて関係団体と連携し、地域としても積極的に取り組むべきと考える。

#### ■調査研究活動を通して

他の地域では、町屋に住みたいという若い女性が SNS を見て増えていることから、シェアハウスに改築して SNS 発信したり、サテライトオフィス、六斎市を利用したマルシェイベントの定期開催や団らんコーナーの開設、営業中の店舗にハンドメイドの商品を陳列販売するなどして効果をあげている実績を知ることができた。今後、SNS 等を効果的に活用する方法も含め、関係機関団体がネットワークを組んで検討していくことを提案したい。

#### ■今後の取り組みについて

しろね大風タウンガイドでは、今後もまちなかサイン整備事業を実施し、引き続き地元住民が地域の魅力に気づき、誇りを持つことのできる事業を継続的に実施していく予定である。